

2026（令和8）年1月吉日

青年法律家協会京都支部

事務局長 高木 野衣

今なお問われる植民地主義 先住民族の遺骨返還問題

講師 太田裕之氏（毎日新聞記者）

青年法律家協会京都支部、本年最初の例会を下記の日程で開催したいと思います。会員の皆さまにおかれましては是非ご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

2月例会では、毎日新聞記者の太田裕之氏にご講演頂きます。太田記者は、京都大学が保管する「琉球遺骨（沖縄・奄美由来の遺骨）」の返還問題等を継続して取材・報道されています（昭和初期に沖縄の墓から持ち去られ、京都大学が保管している約100体以上の遺骨をめぐり、移管を求める市民団体「ニライ・カナイぬ会」と京大との交渉や、団体側の批判（返還手続きが不透明、祭祀承継者の要件など）を報道）。

青法協会員のみならず、司法修習生や学生の方もご参加いただけますので、是非お誘い合わせの上、ご参加ください。

なお、例会終了後には懇親会も予定しておりますので、皆様併せてご参加頂ければ幸いです。

記

2月13日（金） 場所：京都弁護士会
午後6時00分～ 講演「今なお問われる植民地主義
先住民族の遺骨返還問題」
講師 太田裕之氏（毎日新聞記者）
講演終了後 懇親会@近隣のお店にて

2026（令和8）年2月13日（金）

1 青法協京都支部例会（講演） （・会場出席 ・ZOOM出席 ・ご欠席）

2 懇親会 （・ご出席 ・ご欠席）

お名前（ ）

メールアドレス（ ）

*ZOOM参加の方は、必ずメールアドレスをご記入頂きますようお願いいたします。

※ご出欠のご連絡は、FAX、レターケース、メールにて、吉田誠司までお願いいたします（中村利雄法律事務所、FAX：075(241)2691、メール：yoshida@nakamura-lo.com）。